

世は アンチエイジングの時代。年齢や経験の積み重ねで磨きあげた“成熟からなる美しさ”で輝く女性たちをご紹介します。

THE BEST OF ME

～最高の今を写真で記録する～

She's Story 夢を売る仕事に携わる、ハンサムウーマン♡



今月の『大人記念美写真』にご登場いただいたのは、天文館で6店舗を経営する株式会社ディアーナ代表取締役の植村真己子さん。ご自身の半生を書いた著書もあり、講演活動などもこなしながら、県社交飲食生活衛生同業組合初の女性理事長にも就任されています。

モデルや女優の卵などを経て、天文館で開業されたのが約20年前。最初のお店は8坪の小さなお店でしたが、“ピアノが置ける店”という夢があり、その思い通り、なんと半年後には100坪のお店へと拡大。

「水商売の経験は全く無かったものの、思い立ったら即、行動に移す性格で、無知だからできたのだと思います。あの頃は頭で考えず、心のままに動いていた」(真己子さん)

「お酒は一滴も飲めないし、本来なら水商売は肌に合わないんです。参考にしてるのはホテルのサービス。今回、理事長になったのもホスピタリティとスキルを高めていきたいから。お客様は自分の鏡なんです」

夢を売る仕事なので美意識が高く、「性格は顔に出る」「生活は体型に出る」「感情は声に出る」といい、歳を重ねるとパーツより素肌の美しさが勝ってくるというのが信念。

「中身は男ですが、女として生まれたからには、見かけだけでも(笑)。エステWAMスタッフの方と出会い、肌に透明感があって、人柄が良くて…こういう人になりたいと思ったんです。それで何を使っているかを聞いて、それ全部頂戴と(笑)。今まで高い化粧品もいっぱい使ってきましたが、エステWAMの化粧品は使ったら病み付きになる。肌のトーンが変わりました。褒めることの無い母が、肌は褒めてくれる。ローマは一日にしてならず。努力なんです。そこに1番お金を掛けないと、どんなにいいブランドものを持ってても映えないと思うんですよね」

人に頼ることができないという真己子さん。長年の無理がたたり体調を崩し、丸1年以上、引き籠もり状態に陥ったことも。その間に常連のお客様や従業員の訃報が続き、自分は何を甘えているんだと気づかされたそう。

「生きたくても生きられない人もいるんだから。そこからもう一度やり直そうと決心。それで元気になって、ちょうど3年目に入ったところです」

また、50歳を迎え、自分の人生の最終章を自分で飾りたいと新事業『ジュネル』(ジュエリーネイル)にも取り組み、ジュネリストを育てるジュネルアカデミー鹿児島校を開校されたばかり。

「ジュネル自体もまだスタートしたばかりなんですけど、自分の運は自分の魂で勝ち取る。それには動かなければダメ。待っていても何も起こらない」

これから世界に発信したいという真己子さん。アクティブでパワフルながら、見た目はしっとり美しい、羨ましいギャップの持ち主でした。

今月のanne
anne by colette

anne(アンヌ)はcoletteの
お姉さんの存在です

植村 真己子さん(50歳)

Makiko Uemura
会社経営
県社交飲食生活衛生同業組合理事長

●Hair 担当●
AgeeWAM 鹿児島店